

## 「まなび教育推進プラン(中間案)」にご意見をお寄せください

京都府教育委員会では、「学校週5日制」と「少人数教育」についてのアクションプラン(行動計画)を策定するため、保護者や現場の先生、企業関係者や大学教授など26名の方にご参加をいただき、7月26日から延べ16回にわたる検討会議を重ね、このたび、まなび教育推進プランの中間案をとりまとめました。

つきましては、この案に対する府民の皆さんのご意見を下記のとおり募集し、引き続き議論を深めていきたいと考えております。

今後、提出いただいたご意見や検討会議の議論を踏まえ、来年度に生かせるアクションプランとしてまとめていきたいと考えています。

多くの方からのご意見をお待ちしています。



## 「学校週5日制」について

### 完全学校週5日制と学校、家庭、地域社会の役割(地域での体験活動の充実方策等)

#### プラン策定の趣旨

平成14年4月から、学校、家庭、地域社会がそれぞれの役割を果たしながら、相互に連携して豊かな社会体験や自然体験などの様々な活動の機会を子どもたちに提供し、自ら学び自ら考える力や豊かな人間性などの「生きる力」を育むことを目的とした学校週5日制が完全実施されました。

そのことを踏まえ、豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもを育成するため、地域における社会体験や自然体験など様々な活動の充実策について策定するものです。

#### 現状と課題

##### 【現状】(現在進めている主な内容)

- ▶ 体験活動等情報センター  
週末等の体験活動やボランティア活動の情報提供とコーディネートを行っています。
- ▶ 地域ふれあい交流事業  
障害のある子どもと一緒に自然体験やそばうち体験等の活動を通して、子ども同士や地域の人とのふれあい交流事業を行っています。
- ▶ 土曜子ども活動支援事業  
学校施設を活用して、読書・パソコン・スポーツ等の体験活動を行っています。
- ▶ 心身障害児季節療育支援事業  
養護学校に在籍する子どもが夏休みなどの長期休業期間にさまざまな活動を行っています。
- ▶ 青少年社会貢献活動促進事業  
青少年が行う福祉活動や環境美化活動等の活動に対して支援しています。

##### 【課題】

- ▶ 土・日曜日、夏休みなどの長期休業期間、放課後も含め、トータルで子どもたちの活動の場を作り出すこと。
- ▶ すべての子どもたちが安心して参加できる体制を整備すること。
- ▶ 高校生、大学生、地域の人々がボランティアやコーディネーターとして協力してもらえる体制を整備すること。
- ▶ 各種の活動情報を発信するシステムを更に充実すること。



#### 施策の基本方向

- ▶ 身近な体験活動等の情報提供が一層充実する方策を検討します。
- ▶ すべての子どもたちが参加しやすい支援体制について検討します。
- ▶ 身近な場所でさまざまな体験活動が更に充実するよう検討します。

#### 重点施策

今後の学校週5日制対応については、府内市町村教育委員会等と連携し、まず次のように進めたいと考えています。

- ▶ ホームページや情報誌による身近な体験活動等の情報提供を拡充します。
- ▶ すべての子どもが参加しやすい支援体制を整備するため、ボランティアやコーディネーター(高校生・大学生・地域の人々)の養成・登録・派遣を総合的に推進します。
- ▶ 障害のある子どもも含めた子ども同士や地域の人とのふれあい交流事業を拡大します。

このほか、次のようなことを検討しています。

- ▶ 身近な学校施設の活用
- ▶ 伝統工芸やスポーツ等本物に触れる機会の充実
- ▶ 放課後の活動の充実
- ▶ 障害のある子どもの活動の充実

#### 意見募集のご案内

- 1 募集期間 平成14年10月24日(木)から11月20日(水)まで(郵送の場合は、当日消印有効)
- 2 送付要領
  - 郵送、ファックス、電子メールのいずれかの方法で送付してください。
  - 住所、氏名を付記してください。(公表はいたしません)
  - なお、電話でのご意見などには応じかねますので、あらかじめ御了承ください。
  - また、個々のご意見に直接回答はいたしません。(お寄せいただいたご意見については、府の考え方などを整理した上で公表する予定です。)
- 3 送付先
  - 郵送 〒602-8570(京都府庁専用の郵便番号のため住所記載不要) 京都府教育庁指導部学校教育課 まなび教育推進プラン担当あて
  - ファックス 075-414-5837 同上
  - 電子メール gakkyou@mail.pref.kyoto.jp
- 4 問い合わせ先 京都府教育庁指導部学校教育課 まなび教育推進プラン担当 (直通)電話 075-414-5843

裏面のハガキで送付ください

# 「少人数教育」について

## 学力の充実・向上を図る効果的な少人数教育の在り方

### プラン策定の趣旨

新しい学習指導要領が全面実施となるなど教育の大きな転換期を迎え、学力の充実・向上を図る効果的な少人数教育の在り方について、具体的なアクションプラン(行動計画)を策定し、京都府の教育改革を積極的に推進します。

### 現状と課題

#### 【現状】(現在進めている主要内容)

- 小学校 1年生** ▶1年生では30人を超える全ての学級で二人の先生による指導を進めています。
- 小学校 2～6年生** ▶2年生への進級時に学級数が減ることになっても、1年生の時の学級数を維持しています。  
▶国語、算数・数学、英語等の教科で、20人程度の少人数授業などきめ細かな指導を進めています。
- 中学校** ▶中学校教員(小中連携加配)が小学校の教壇に立って授業をしています。

**【課題】**義務教育9年間を見通して、学年の特性や児童生徒の発達段階に即した効果的な指導方法や、柔軟な指導体制により、ひとりひとりを一層大切にしたいきめ細かな指導を進めること。

### 施策の基本方向

- 《小学校低学年》
  - 小学校生活に慣れないため、一つの学級を二人の先生で指導するなど柔軟な指導体制を更に拡大することを検討します。
- 《小学校中学年》
  - 運動能力や知的な能力も大きく発達し、個性の違いも明確になってきます。そのため、国語や算数などの学習は、現在行っている興味・関心や習熟の程度に応じた少人数授業が効果的であり、一層拡大することを検討します。
  - また、効果的な少人数学級の在り方についても検討します。
  - 検討に当たっては、遊びや集団活動などでは、大きな集団で切磋琢磨する場を作ることに留意します。
- 《小学校高学年》
  - 抽象的、論理的思考を始める時期です。そのため、習熟度別学習等の少人数授業を一層進めることを検討します。
  - また、教科の専門的な内容に興味・関心を示す時期であり、教科担任制の導入について検討します。
- 《中学校》
  - 習熟度別学習等の少人数授業による、生徒ひとりひとりに合った学習を一層推進することを検討します。
  - また、21世紀の国際社会に生きる中学生にとって、初めて学習する英語については特にきめ細かな指導形態を検討します。



### 重点施策

今後の少人数教育は、府内市町村教育委員会と協議し、まず次のように進めたいと考えております。

**小学校1・2年生では、30人を超える学級で二人の先生による指導を基本に充実します。**

小学校のスタート時期に、基本的な生活習慣や学習規律をきちんと身につけることができるかどうか、その後の学力向上に大きく影響します。

そのため、まだ幼さが残っており、先生との関わりを強く求めるこの時期には、学級の中に二人の先生が居て指導する体制を更に広げます。

#### なぜ、小学校1・2年生で二人の先生による指導を進めるのか

最近の1・2年生の状況	理由
▶授業中立ち歩くなど授業に集中できない児童がいる。	▶二人の先生で指導すると、複数の目でみることができるので、変化を早く発見し、生活のきまりや学習のしかたを丁寧に指導できる。
▶みんなが先生を独占したが、対応してもらえないとパニックになる児童がいる。	▶最近の子どもの状況を見ると、多少、学級規模を小さくしても個別の対応に追われ、授業を円滑に進めにくい。また、一人の児童に手をとられ、他の児童への目が届きにくい。
	▶二人の先生で指導した場合は一人が個別の対応、もう一人が全体の指導を同時に進められる。

**小学校・中学校で現在進めている少人数授業を一層拡充したいと考えています。**

国語、算数・数学、英語などの教科で、20人程度の少人数授業を実施し、児童生徒の興味・関心や習熟の程度に応じた学習など、ひとりひとりに合った学習を一層進めることによって、学力を向上させます。



### まなび教育推進プランについてご意見・ご提案を募集

府民の皆さまのご意見を参考にしたいと思しますので、右記のはがきをご利用のうえ、ご意見をお寄せください。

なお、厚紙をはさみこんでのりづけのうえ、ご利用ください。

このはがきの郵便番号は、料金受取人払専用ですので、通常の郵便をご利用の方のあて先は1面をご覧ください。

**切手をはらずに投函してください**



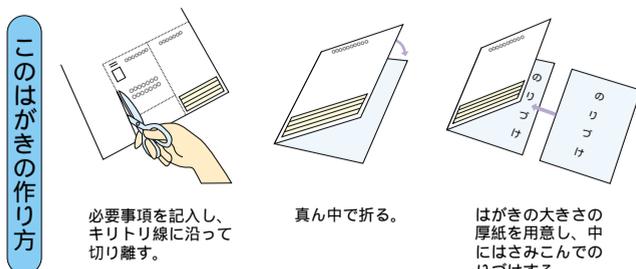
差出有効期間  
平成14年12月31日まで

郵便はがき

6028790

京都府教育庁指導部学校教育課

まなび教育推進プラン担当 行



まなび教育推進プランについてのご意見・ご提案

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

住所 〒

氏名

# 京都府教育委員会の新しい取組

## 学力の充実・向上を図ります

### 京都夢・未来校

児童生徒の学力の充実・向上を図り、先進的な研究実践を行う「京都夢・未来校」を12校(小学校7校、中学校5校)指定しています。

学校では国語、算数・数学、理科、英語について、少人数授業による習熟度別学習、課題別学習など多様な指導方法の実践研究や「発展的な学習」、「補充的な学習」の教材開発などを行っています。

子どもたちは、自分で学習のコースを選び、自分の学習の速度などに合わせて取り組めるので「よくわかる」と意欲的に学習に取り組んでいます。



### 基礎学力充実実践研究事業

児童生徒の学力を診断テストなどで客観的に把握し、ひとつひとつの課題に応じた学習教材の開発に取り組んだり、個々の子どもが自分のペースで取り組める個別学習プログラムを開発する「基礎学力充実実践研究校」を40校(小・中各20校)指定しています。

研究校には、基礎学力充実指導員を配置し、学校で開発した教材を活用し、家庭学習が定着するようにしています。また、保護者との学習相談を通じて、自学自習の習慣を身につけさせ、子どもの主体的な学習意欲の向上を図っています。

## 豊かな心を育てます

### 心のふれあい相談員

小学校20校にカウンセラーや教員を目指す大学生や大学院生など、子どもたちが身近に感じる若い世代を中心とした「心のふれあい相談員」を配置しています。

相談員は、学校のいろいろな行事に参加したり、一緒に遊んだりしながら子どもたちとふれあう中で、気軽に話ができる雰囲気を作り、悩みや不安等について、きめ細かな相談活動を行っています。

また、相談室を設置するなど相談しやすい環境の整備に努めています。



### 地域ふれあい体験活動

本年度から2年間、中学校17校とその校区の小学校42校を「地域ふれあい体験活動」推進校に指定しています。

学校では、職場体験や農業体験、高齢者との交流など、地域での体験活動を実施し、「生きる力」の核となる豊かな人間性を育てる「心の教育」の充実を図っています。

また、指定した中学校区で体験活動交流フォーラムを開催して、小・中学生、保護者、地元の方々など参加者全員で交流し、地域ぐるみで子どもを育てる気運を育てていきます。

## 意欲と情熱あふれる優秀な教職員を表彰

京都府教育委員会では、今年度初めて日々熱心に教育実践等に取り組んでいる優秀な教職員を表彰します。

平成14年11月6日(水)に表彰式を行い、その後、教育実践交流セミナーを実施し、互いの教育実践の交流などを行います。

【50音順・敬称略】

<b>&lt;小学校&gt;</b>			福知山市立六人部中学校	教諭 片山 哲朗	西宇治高等学校	教諭 稲川 孝幸
宇治市立北極島小学校	教諭 石田 光春	笠置町南山城村中学校組合立笠置中学校	教諭 加藤 努	桃山養護学校	教諭 大石 貴志子	
伊根町立伊根小学校	教諭 伊藤 正	向日市立寺戸中学校	教諭 川島 千鶴子	鳥羽高等学校	教諭 大館 健司	
加茂町立加茂小学校	教諭 瓦 俊夫	亀岡市立亀岡中学校	教諭 神先 宏彰	宮津高等学校	教諭 京崎 秀樹	
八木町立八木小学校	教諭 塩谷 由美子	三和町立三和中学校	教諭 清水 雅登	洛北高等学校	事務職員 高乗 重幸	
長岡京市立長岡第四小学校	教諭 高橋 美佐子	向日市立勝山中学校	教諭 外田 敏久	八幡高等学校	教諭 越野 泰徳	
和束町立和束小学校	教諭 中川 嗣郎	城陽市立城陽中学校	教諭 高橋 恵	豊学	教諭 酒井 弘	
京田辺市立薪小学校	教諭 花光 正博	木津町立木津中学校	教諭 田中 勉	綾部高等学校	教諭 参田 香都美	
舞鶴市立中舞鶴小学校	教諭 稗田 洋子	宇治市立極島中学校	養護教諭 辻本 はるみ	盲学	教諭 土井 恵二	
亀岡市立西別院小学校	教諭 村上 雅美	城陽市立南城陽中学校	教諭 長澤 秀明	洛北高等学校	教諭 永井 正人	
美山町立鶴ヶ岡小学校	教諭 村田 純子	網野町立網野中学校	養護教諭 平井 雅子	南八幡高等学校	教諭 西田 隆	
園部町立園部小学校	教諭 山内 津八子	八幡市立男山中学校	教諭 水島 秀文	山城高等学校	教諭 橋長 正樹	
		久御山町立久御山中学校	教諭 森岡 康彰	久美浜高等学校	教諭 平野 正樹	
		福知山市立日新中学校	教諭 山田 武子	商業高等学校	教諭 藤末 邦政	
<b>&lt;中学校&gt;</b>					嵯峨野高等学校	教諭 古谷 一樹
舞鶴市立城北中学校	教諭 秋原 栄人			北桑田高等学校	教諭 山名 英夫	
宇治市立南宇治中学校	教諭 秋元 恒志			亀岡高等学校	教諭 山本 康一	
大宮町立大宮中学校	教諭 上田 隆嗣					
綾部市立綾部中学校	養護教諭 梅原 しのぶ					
宮津市立宮津中学校	教諭 大槻 徹					
		<b>&lt;府立学校&gt;</b>				
		木津高等学校	教諭 石橋 常男			
		園部高等学校	教諭 伊藤 雅史			
		菟道高等学校	教諭 稲垣 孝之			

## 網野町立網野北小学校

## きょういくきたみなみ

## 山城町立山城中学校

### 命の水を守る「京のエコスクール」～第3回世界水フォーラムに向けて～

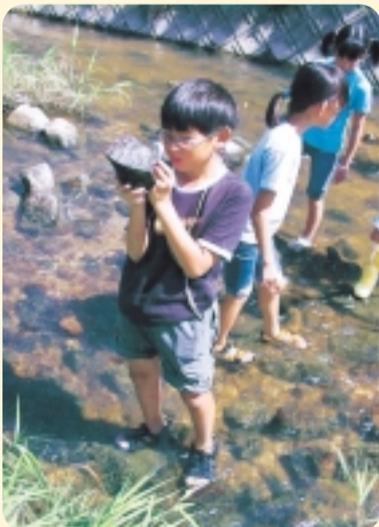
#### 地域の環境を守る取組

日本海に面した本校では、総合的な学習の時間などで、自然環境調査等の体験活動をとおり地域の自然に関心を持ち、地域の環境を守ろうと様々な取組を進めています。

本年度は、水環境をテーマに網野町の上水道にも使われている福田川の水質を調べるため、9月～10月にかけて5年生が河川環境の指標となる昆虫や魚などの生物の生態を上流から下流まで3箇所調査しました。モズクガニやオイカワ、ムツ、シマエビなどの生き物を確認し、子どもたちも大喜びでした。

今後は、化学的な水質検査なども実施する予定です。

また、平成12年10月に「第20回全国豊かな海づくり大会」が網野町で開催され、ゴミ等による海水や砂浜汚染について地域住民の関心が高まったのを機に、海岸の清掃に全校をあげて取り組むとともに、鳴き砂で有名な琴引き浜で微少貝の生態調査や海水から採取した塩を分析して汚染状況を調べる取組を進めています。



#### 「環境から学び」「環境について学び」「環境のために学ぶ」

本校では、「環境を守り、よりよい環境を創造し、環境の世紀を担う、心豊かで実践力のある生徒の育成」を目指しています。

総合的な学習の時間などを活用し、1年生は、学校周辺に残る環濠集落や、花崗岩が風化崩壊した砂でできた鳴子川など木津川へ注ぐ天井川の成り立ちやその水質、2年生は、田守池などの灌漑用溜め池の歴史や分布・活用方法、そして、3年生では、地球規模の水環境を学習しています。また、この夏休みには、府立木津高校の協力を得て、水生生物を調査し水環境を推測したり、試薬を使って水質を調査し「ミニ水マップ」を作成しました。



山城町では、第3次総合計画に基づき、「人と自然がめぐり、輝くエコポリス」の実現を目指しており、またPTAでも環境に関する標語コンクールを実施するなど、学校と地域社会が一体となって環境教育を展開しています。

生徒は、これらの調査や身近な河川の歴史などについての学習を通じ、水環境への関心が高まり、また、環境保全についての実践的な態度も身に付いてきています。

# 府立高校生 大活躍!

# 夏の全国大会

茨城県などで開催された全国高等学校総合体育大会等に、府立高校から381名(総勢753名)が、めざましい活躍を見せました。団体種目では、女子ハンドボールの洛北、水球の鳥羽が接戦を制し、共に4年ぶり3度目の優勝をはたしました。個人種目では、レスリング、ウエイトリフティング、カヌーで優勝するなど、8位以内の入賞は、団体で9種目、個人で65種目を数え、昨年を大幅に上回る大活躍でした。

## 平成14年度 各大会の入賞者

### 全国高等学校総合体育大会

順位	学校名	団体・個人別	種目名	種目
優勝	洛北	団体(女子)	ハンドボール	学校対抗
	鳥羽	団体(男子)	水泳(水球)	学校対抗
	網野	岩井康輔	レスリング	63kg級
	網野	松本真也	レスリング	76kg級
2位	鳥羽	石原寛朗	ウエイトリフティング	77kg級T・S・C
	加悦谷	川畑源大	ウエイトリフティング	85kg級T・C
	加悦谷	松川明広	ウエイトリフティング	94kg級C
	南陽	団体(女子)	なぎなた	学校対抗
3位	加悦谷	団体(男子)	ウエイトリフティング	学校対抗
	加悦谷	松川明広	ウエイトリフティング	94kg級T・S
4位	加悦谷	関野宅矢	ウエイトリフティング	105kg級T
	菟道	団体(女子)	A・チェリ-	学校対抗
	加悦谷	近間 麻	陸上競技	砲丸投
	南陽	貴井みさき	なぎなた	個人
5位	加悦谷	川畑源大	ウエイトリフティング	85kg級S
	加悦谷	阿波佳宜	ウエイトリフティング	85kg級C
	加悦谷	松本真之輔	ウエイトリフティング	105kg級C
	北稜	大西毅彦	陸上競技	800m
6位	加悦谷	関野宅矢	ウエイトリフティング	105kg級S・C
	西城陽	団体(男子)	ソフトテニス	学校対抗
	商業	団体(女子)	ホッケ-	学校対抗
	園部	福田浩紀	陸上競技	ハンマー投
7位	加悦谷	阿波佳宜	ウエイトリフティング	85kg級T
	菟道	曾谷武史	ボクシング	フェザー級
	西城陽	黒木綾乃	水泳(競泳)	100mバタフライ
	加悦谷	阿波佳宜	ウエイトリフティング	85kg級S
8位	西城陽	南本沙樹	陸上競技	やり投
	網野	久古将弘	ウエイトリフティング	53kg級C
優勝	加悦谷	川畑力大	ウエイトリフティング	62kg級T・S
	菟道	長村和昌	A・チェリ-	個人

(注)ウエイトリフティングTはト・タル Sはスナッチ Cはクリン&ジャーク

### その他の全国大会

順位	学校名	団体・個人別	種目名	種目
優勝	加悦谷	小長谷麻衣	女子ウエイトリフティング	75kg超級C
	久美浜	古嶋・山形・榊井・太田	カヌー	K-4(500m)
2位	網野	岩井康輔	レスリング	グレコローマン63kg級
	加悦谷	小長谷麻衣	女子ウエイトリフティング	75kg超級T
3位	加悦谷	橋田麻由	女子ウエイトリフティング	63kg級T・S
	加悦谷	小長谷麻衣	女子ウエイトリフティング	75kg超級S
	網野	濱岡佑美	女子ウエイトリフティング	69kg級T・S・C
	綾部	野間・原田	カヌー	FK-2(500m)
4位	久美浜	古嶋・山形・榊井・太田	カヌー	K-4(200m)
	綾部	団体(女子)	カヌー	学校対抗
	加悦谷	後藤亜耶	女子ウエイトリフティング	75kg級C
	加悦谷	橋田麻由	女子ウエイトリフティング	63kg級C
5位	加悦谷	橋 海見	女子ウエイトリフティング	53kg級S
	久美浜	古嶋・山形	カヌー	K-2(500m)
	綾部	野間・原田	カヌー	FK-2(200m)
	加悦谷	団体(女子)	女子ウエイトリフティング	学校対抗
6位	鳥羽	松本多美子	女子ウエイトリフティング	58kg級T・C
	加悦谷	橋 海見	女子ウエイトリフティング	53kg級T
	鳥羽	西 麻美	女子ウエイトリフティング	48kg級S
	久美浜	和田・野村・山本・小國	カヌー	C-4(500m)
7位	綾部	永井真哉	カヌー	C-1(200m)
	加悦谷	後藤亜耶	女子ウエイトリフティング	75kg級T・S
	鳥羽	松本多美子	女子ウエイトリフティング	58kg級S
	加悦谷	橋 海見	女子ウエイトリフティング	53kg級C
8位	鳥羽	西 麻美	女子ウエイトリフティング	48kg級T・C
	綾部	野間敦子	カヌー	FK-1(200m)
	久美浜	古嶋和樹	カヌー	K-1(500m)
	綾部	野間敦子	カヌー	FK-1(500m)
優勝	久美浜	西垣・辻・上田・矢野	カヌー	FK-4(500m)
	鳥羽	井上肖子	女子ウエイトリフティング	63kg級S
	久美浜	古嶋・山形	カヌー	K-2(200m)
	久美浜	和田・野村・山本・小國	カヌー	C-4(200m)
優勝	久美浜	西垣・辻・上田・矢野	カヌー	FK-4(200m)

### 全国定時制・通信制大会

順位	学校名	団体・個人別	種目名	種目
1位	鳥羽	団体(女子)	卓球	学校対抗
2位	桃山	梶尾岳史	陸上競技	200m
3位	鳥羽	大森充敏	陸上競技	400mH
4位	桃山	木原征紀	陸上競技	走高跳
5位	京都府	団体(男子)	陸上競技	府県対抗(トラック)
6位	京都府	木原・梶尾・酒井・久保見	陸上競技	4x100mリレー
7位	京都府	団体(男子)	陸上競技	府県対抗
8位	京都府	平井・田中・布市・大森	陸上競技	4x400mリレー
優勝	桃山	梶尾岳史	陸上競技	100m
優勝	北桑田美山	徳田裕也	陸上競技	5000m
優勝	桃山	木原征紀	陸上競技	三段跳



平成14年度全国高等学校総合体育大会総合開会式(茨城総体) 入場行進する京都府選手団(団長:前田 勉 旗手:井上 宏志)



ジャンプシュートする洛北高校の選手



優勝を喜ぶ鳥羽高校水球部員



3連覇を果たした松本選手の決勝戦



初優勝した岩井選手の決勝戦



他を寄せつけず圧勝した石原選手



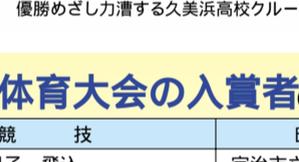
スナッチを差し上げ逆転、連覇を果たした川畑選手



ジャーク100kgをあげ優勝した小長谷選手



優勝した松川選手の表彰式



優勝めざし力漕する久美浜高校クルー

# 全国中学校体育大会

## 近畿ブロック開催

近畿ブロックで開催された平成14年度全国中学校体育大会に、177名の府内の中学生が参加し、素晴らしい活躍を見せました。飛込競技・競泳競技の団体、女子ソフトボール等で優勝するなど、団体3種目、個人3種目で優勝。また、8位以内の入賞数は団体で7種目、個人で19種目を数えました。



飛板飛込・高飛込の2種目で見事優勝した山村選手

## 全国中学校体育大会の入賞者(府関係分)

順位	競技	氏名	戦績
1位	水泳団体 男子 飛込	宇治市立東宇治中学校	16点
	水泳競技 男子 飛板飛込	山村 祐敏(東宇治)	396.60点
	水泳競技 男子 高飛込	山村 祐敏(東宇治)	315.75点
2位	水泳団体 男子 飛込	宇治市立宇治中学校	14点
	水泳競技 男子 飛板飛込	森岡 大成(宇治)	383.49点
	水泳競技 男子 高飛込	森岡 大成(宇治)	287.64点
3位	剣道団体 女子	八幡市立山第三中学校	
	陸上競技 男子 三種競技A	森口 勇(維孝館)	3019点
4位	体操団体 女子	宇治市立北宇治中学校	156.625点
5位	陸上競技 男子 3000m	山内 裕大(園部)	8分49秒65
7位	水泳競技 男子 200mバタフライ	西尾 裕樹(西ノ岡)	2分08秒78
8位	陸上競技 男子 砲丸投	山内 薫(城北)	16M28

## シリーズ 人権

「A型の人」「外国人」「京都の人」...  
 などからあなたは、どんな  
 人(こと)をイメージしますか?



## 偏見や一面的な見方で、人を見ないで

私たちは、自分自身の中にある「...なも(人)である」という型にあてはめたものの見方をしてしまいがちです。そして、知らない人や初対面の人があるか、その型で判断してしまうことがあります。「私の友だちとてもきちょうめんやねん。やっぱりA型やなあ。」や「うちのおじいちゃん頑固でね、年とるとこれから困るわ。」など...  
 でも、もし就職の面接官が「うちの仕事はきちょうめんな人に向いている。この受験生はB型だから...。不合格!」と考えたら...  
 私たちは、人を一面的にとらえ、偏った見方(偏見)をしてしまうことで、人の心を傷つけてしまう場合があります。そんな時、ちょっと違った角度からその人を見つめてみてはどうでしょうか。  
 人やものごとを幅広くとらえようとする、そんな「心の余裕」を大切にしたいですね。

## トータルアドバイスセンター

(電話または来所)

子どもの発達、いじめや不登校などの学校教育や、子育てやしつけなどの家庭教育に関することについて、精神科医や臨床心理士などが相談を受けます。

	府総合教育センター内(伏見区)	府総合教育センター北部研修所内(綾部市)
来所教育相談	月~金〔祝〕を除く 10:00~17:00(電話で予約が必要です)	
電話教育相談(学校教育)	毎日〔祝〕を除く 10:00~22:00 (☎075-612-3268)	月~金〔祝〕を除く 10:00~19:00 (☎0773-43-0390)
(家庭教育)	(☎075-612-3301)	